

よこすか ライフプランナー通信

定住強化特集 住む人の満足度日本一の横須賀へ。
住んでみたいまち日本一の横須賀へ。



堺洋次郎
生まれも育ちもハイランド/津久井幼稚園卒園/栗田小学校入学/関東学院六浦小中高卒業/関東学院大学文学部英米文学科卒業/住宅メーカー入社/生命保険会社入社/横須賀青年八日会平成27~28年度会長/ハイランド在住/40歳/A型ヤギ座

横須賀でくらす人のために。
教育には、もっとできることがあります。
医療にも、もっとできることがあります。
じつは問題いっぱい横須賀ですが、可能性いっぱい横須賀と考えたい。
私は、住宅メーカーと生命保険会社で、たくさんの方の人生と向きあってきました。目に見えない将来の問題に焦点をあて、対策をうつ仕事をしてきた経験をいかし、「よこすかライフプランナー」として、地元横須賀のまちづくりを尽くしていきます。

人口が減る → 企業が減る → 市の財政悪化

この負のスパイラルを根本的に解決するには「定住」に目を向ける必要があります。



定住者を ふやそう

そのために、
住む人の満足度日本一の横須賀へ。
住んでみたいまち日本一の横須賀へ。

住宅メーカーと生命保険会社でたくさんの人生設計に関わり、わかったこと。
人が住む場所を決めるうえで重視するのは2つ。「教育」と「医療」です。
わが子を通わせたい学校があったら、お父さん・お母さんは通勤時間が30分増えても教育を優先します。
いい病院や介護施設があって家族が安心するなら、お父さん・お母さんは30分長く電車で乗ります。すべては家族愛。そんなシーンを何度も見てきました。

世界にひらかれた教育都市へ

市内に外国があり、日本を代表する研究機関が集まっている横須賀には可能性があります。

日本一の医療都市へ

医療機関どうしの連携がよい横須賀には、可能性があります。

横須賀の可能性は？課題は？ お話を聞きました。

横須賀の可能性を
さがして

教師が忙しすぎる。子どもと向き合う時間が減っている。
(市内の中学校の教頭先生)

市内にベースがあって外国人がたくさんいるのに、英語教育に活かしきれない。異文化交流を増やしたり、子どもが小さいころからできる短期交換留学を実施できたら。(市内のおかあさん)



習い事をやらせたいけど金銭的に厳しい。働きに出て収入を得たいけど、子どもを預ける場所がない。(市内のおかあさん)

小学6年生まで医療の一律無償化は必要ないのでは。子どもは就学前は免疫力が弱いけど、小学校にあがればあまり病気をしない。けれども無償だと軽い病気でもつい病院に行ってしまう。そこに使うお金を節約して、もっと重い病気の子どもの支援にあげたほうがいいのでは。(女性経営者)



介護の人材が不足している。介護の仕事は貢献度が高く大変な仕事にも関わらず、社会的地位が低い。介護従事者が評価してもらえないような仕組みを。学生たちにも、この仕事のやりがいを感じていくべき。(介護事業所さんふらわあの今澤代表)

世界を席巻するすごい科学技術を横須賀で開発できる。(横須賀リサーチパーク立ち上げメンバーの廣川さん)



横須賀の介護と医療の連携は進んでいます。これを加速させれば全国の中で横須賀がバイオニアになれる。(中島内科クリニックの中島院長)

東京へ通勤しなくても、横須賀にいながら、子どもを預けながら働ける環境をつくれないうらうか。(横須賀リサーチパーク立ち上げメンバーの廣川さん)

高齢化は、言いかえるとシニア世代の拡充。しかも元氣。シニア世代を活用したソーシャルビジネスに可能性があるのでは。(横須賀リサーチパーク立ち上げメンバーの廣川さん)

自然が豊かで、そこそこ都会で、食べ物も美味しく、すぐく住みやすい町で子どもを育てられるのは幸せ。よい環境で将来の人材を丁寧に育てていくことが横須賀ではできる。(きんなん幼稚園の織喜園長)

子どもの遊ぶ場所がとにかく少ない。外で遊ばせたいのに公園でボール遊び禁止とか、子どもが遊べる環境がもっと増えたら、体力低下も改善するのでは。自然がたくさんあるので、遊びを通して考える力や視野の広さを養える。(市内のおかあさん)

外から移住してきました。横須賀は他の地域にくらべて野菜や魚が本当に美味しい。食の豊かさは子育てにもとてもいい環境。(市内のおかあさん)

数字に表れない潜在的な待機児童をどこまでケアできるか。(横須賀バイリンガルスクールの井上代表)

国民健康特定健康診断の受診率は、横須賀市は28.5%。船橋市は47.7%。生活習慣病のリスクをもつ人の割合が高く、健康マネジメントへの意識が低い。収入と関係している？(横須賀共済病院の長堀院長)



診療所どうしの連携、医療と介護の連携には、市の仲介が必要。(中島内科クリニックの中島院長)

仕事が減っているが、タネはたくさんある。たとえば、仕事をはじめたい人を支援する。それもビジネスになる。(横須賀リサーチパーク立ち上げメンバーの廣川さん)

急性期病院、急性期&慢性期病院、慢性期病院、各レイヤーにきちんとした病院がそろって、ネットワークされつつあるという点では神奈川県の中では一番。(横須賀共済病院の長堀院長)

医療クラスターができれば、雇用や企業の誘致もすみ定住者も増える。東京という巨大な市場を取り込むこともできる。(横須賀共済病院の長堀院長)

横須賀が、日本の中で、アニメの聖地として動き出しました。これからの動きに大きな可能性を感じます。(和菓子屋に来るお客さん)

横須賀は「看取り」が日本一。それは在宅医療が進んでいるから。(中島内科クリニックの中島院長)

洋次郎先輩は、私が中学生の時の英語の家庭教師でした。英語から英会話、そして海外へとつながる道を切り拓くきっかけを作ってくれた恩人です。(小泉進次郎代議士)



たくさんの方から、いろいろなお話をうかがっています。YouTubeでご覧になれます。

住む人が「ヨコスカ最高！」と思えるまちへ。→「定住」強化。

世界にひらかれた教育都市へ

横須賀教育ネットワークプロジェクト

学力・体力・スキル・教育力向上/適切な教育補助金のために

- 横須賀の教育現場は横のつながりが強い。学校単位という枠にとらわれず、学校や先生の個性をいかし、アイデアをひろげるためのサポートを。
- 動画を撮影・編集などを手伝ってくれる人をつのり、塾に行けない子どもたちへの課外授業をオンライン配信。
- 子どもを教えることができるのは先生だけではない。元先生、元スポーツ従事者を集めて街全体で教育できる環境を。そうすれば先生は授業にもっと集中できる。
- 海外留学、高校・大学進学への補助金を充実。

もっと稼げる！プログラム 個々の増収/満足感・充実感向上のために

- 久里浜エリア学童保育への対応。安心して働くための環境づくりとそのための補助金制度を整備。
- 個性と能力を引き出す実践型教育を導入。「営業力の授業」「目標達成(設定)力の授業」「起業家育成授業」などを導入し、将来にわたって「稼げる」「生き抜ける」デジタル化や格差社会に負けない人材を育成する。
- 横須賀には使える英会話を学べる環境がある。話せるだけにとどまらず、交渉できる人へ。世界で稼げる人材を育成する。
- 子どもだけでなく大人も「稼げる人材」へ。生涯教育・キャリア教室をつくり、ハローワークの就労支援策と連携して、求められる人材を世の中に排出する。

日本一の研究都市！横須賀スマートシティ 企業誘致/雇用創出/定住者増加のために

- YRP、海洋開発研究機関をはじめ、日本を代表する研究機関と中小企業、教育機関との連携プログラムを実施。
- 国、県との連携を強め、先端技術を用い、環境に配慮した生活インフラサービスを整備。
- 横須賀のもつ通信技術を活用し、市内全域Wi-Fiを完備。

日本一の医療都市へ

人生100年時代へ向けた横須賀の医療・介護構想

医療・介護不安解消/食育推進/健康長寿/早期から専門医の診察を受けられる環境づくりのために

- 「人生100年時代」が来るが、不健康の長生きはつらい。寿命がのびることは尊いが、支える人も高齢化するので大変。少しでも健康で安心して歳を重ねられるように。
- 啓蒙活動の強化。健康を失ったときの本人や家族はどうなるか。そうならないための施策や問題点を発信する。
- まずは自分の状況を自分で把握すること。健康診断受診率を28.4%から50%に引き上げる。「行くかどうか本人まかせ」→「行くべき」→「行きたくない」健康診断へ。
- 「健康・食育推進プランよこすか」を多くの人に認識していただき、食・運動・心身の健康に向けた「未病対策」への取り組みを具体的に提示する。
- 市内全域Wi-Fiを使って待ち時間のないノーストレスで専門性の高い医療サービスを実現する。

横須賀医療をつなぐネットワーク

医療費軽減/医療・介護不安解消/安心医療・介護のために

- 高齢化が進む横須賀では、病院も診療所もてんでこ舞い。適時的確な診療所の案内、予約ができるポータルサイトをつくる。企業・医療関係機関からサイト広告収益を得て、患者の初診料へ一部還元する。
- 介護という尊い仕事につく人たちに賞賛を送れる評価制度をつくり、オリジナルの認定証などを発行する。横須賀で気持ちよく働いてくれる介護ワーカーの人材確保・留保・育成のために「介護ワーカー@横須賀」のコミュニティサイトをつくり、人材の登録と仕事履歴の紹介など情報交換する。
- 医療介護のお悩み事について、豊富な専門家ネットワークによる講演会・相談会や巡回サービスを定期的実施する。横須賀は人があたたかくつながりが深い。介護施設と地域とが密着した介護環境インフラづくり。
- 安心して出産できる医療環境の整備。育児不安改善に向けた相談窓口の設置。小児医療費助成制度の見直し提案。

日本一の医療のまち横須賀へ 経済効果/雇用促進/定住増加のために

- 「患者」も「支える家族」も「従事者」も満足度が上がる医療・介護を。実績を発信して横須賀の医療が注目を集めれば、医療クラスター構想の実現は加速する。YRPなどの空き地を利用して通信環境の整った臨床・基礎研究・ものづくりが一体化した産官学連携の医療体制を構築する。
- 地域包括ケアシステムの推進をサポート。住みなれた地域で介護や医療、生活支援サポートやサービスを受けられるよう、「住まい」「医療」「介護」「生活支援・介護予防」を包括的に整備。
- 病診連携・診診連携（病院と診療所、診療所と診療所が、それぞれの役割・機能を分担し、患者のためにお互い連携しながら、より効率的・効果的な医療を提供すること）にすぐれている横須賀の地域医療構想の広報活動。

田中洋次郎
からの「提案」

まだまだある/
横須賀の
可能性

「横須賀の日本一」を
もっと知ってもらおう、
もっと楽しんでもらおう！

- トンネル日本一 ●看取り日本一
- 日本一の設備をほこる海洋研究所

サブカルのまち「ヨコスカ」を
もりあげていこう！

- サブカルチャーへのサポートを充実させる
- アニメの聖地「ヨコスカ」へ向けた支援。
- あいている場所を活用して、ファンたちのコミュニティ活動拠点に。

ウェブサイト・SNSも、ぜひ見てみてください。
<http://yokosuka-yojiro.jp>



田中洋次郎の動画メッセージをご覧ください。
https://www.youtube.com/channel/UCPDKm-7zGE1A0hPw6N_Kavw

お話を聞くだけでなくお話ししたい！
どこでも出張「ミニ集会」少人数からでもけっこうです。
お気軽にお電話ください。